2020年度 決算説明資料

2021年5月18日
日本テレビホールディングス株式会社

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。
しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

２０２０年度決算のポイント

決算詳細・２０２１年度の見通し

コーポレートガバナンス改革

２０２１年度 経営方針

コンテンツビジネス戦略

2020年度のポイント

Point 1

2020年度連結決算はコロナにより減収減益
売上高および各段階利益は3Q時予想より改善

・広告収入の下期大幅改善により減収幅縮小
・コロナ禍での徹底したコストコントロールが奏功

Point 2

広告収入のシェア新記録、デジタル領域が好調

・広告収入のシェアで初の３０％超え
・Hulu売上高は前年比１２０％超、会員数を順調に伸ばす
・「今日から俺は！！」「三國志」が国内興収２位・３位を記録

Point 3

コロナ禍の影響ほか

・ティップネスののれん・店舗減損を特別損失に計上
・投資有価証券売却益を特別利益に計上
・東京五輪の権利金に関わる評価損（番組制作費）を計上

２０２０年度決算のポイント

決算詳細・２０２１年度の見通し

コーポレートガバナンス改革

２０２１年度 経営方針

コンテンツビジネス戦略

2020年度 連結決算概況

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	増減率（%）
売上高	426,599	391,335	△8.3
営業利益	43,111	34,526	△19.9
経常利益	49,206	42,944	△12.7
親会社株主に帰属する当期純利益	30,555	24,042	△21.3

売上高の前年同期増減内容

（単位：百万円）

経常利益の前年同期増減

（単位：百万円）

設備投資・減価償却費（連結）

2020年度 （単位：億円）	設備投資額	減価償却費
	132	174

日本テレビ放送網 決算概況

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	増減率（%）
売上高	307,271	286,314	△6.8
営業利益	37,340	32,922	△11.8
経常利益	41,853	36,429	△13.0
当期純利益	28,214	43,718	55.0

日本テレビ放送網 営業収入

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	増減率（%）
放送収入	247,959	226,802	△8.5
番組販売収入	11,415	11,342	△0.6
事業収入	45,844	45,870	0.1
不動産賃貸収入	2,052	2,300	12.1
合計	307,271	286,314	△6.8

日本テレビ放送網 放送収入

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	増減率（%）
放送収入	247,959	**226,802**	△8.5
タイム	125,706	**121,016**	△3.7
スポット	122,252	**105,786**	△13.5

日本テレビ放送網 営業費用

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	増減率（%）
番組制作費	95,245	88,421	△7.2
人件費	21,848	21,616	△1.1
減価償却費	12,306	11,139	△9.5
事業費	35,169	33,169	△5.7
その他	105,360	99,044	△6.0
合計	269,931	253,391	△6.1

日本テレビ放送網 番組制作費

（単位：百万円）

2019年度	2020年度	増減率（%）
95,245	88,421	△7.2

番組制作費

(※)東京2020オリンピック・パラリンピックに関わる評価損3,100百万円を含んでいます

日本テレビ放送網 事業収支

（単位：百万円）

		2019年度	2020年度
有料放送	収入	9,318	8,341
	費用	4,893	4,465
	収支	4,425	3,876
ライツ	収入	2,217	2,285
	費用	953	650
	収支	1,263	1,636
通販	収入	9,106	11,341
	費用	8,234	9,876
	収支	872	1,465
映画	収入	6,791	10,210
	費用	6,165	7,193
	収支	626	3,017

		2019年度	2020年度
イベント	収入	4,322	739
	費用	3,916	905
	収支	406	△166
海外ビジネス	収入	2,470	2,722
	費用	1,128	1,202
	収支	1,342	1,520
その他	収入	11,621	10,230
	費用	9,881	8,879
	収支	1,741	1,351
合計	収入	45,844	45,870
	費用	35,169	33,169
	収支	10,674	12,700

その他グループ会社の状況①

（単位：百万円）	BS日本	CS日本	日テレ・テクニカル・リソーシズ	日テレアックスオン	日テレイベンツ	日本テレビアート
売上高	15,232 (△0.1%)	4,566 (△4.0%)	9,432 (△12.1%)	21,104 (△4.8%)	1,478 (△55.3%)	6,609 (△16.3%)
営業利益 又は損失（△）	1,845 (81.0%)	688 (△14.3%)	△130 (－)	930 (16.9%)	△410 (－)	△132 (－)
経常利益 又は損失（△）	1,890 (80.1%)	695 (△14.7%)	△95 (－)	947 (16.5%)	△396 (－)	△120 (－)
当期純利益 又は損失（△）	1,312 (84.9%)	481 (△14.6%)	△69 (－)	681 (23.4%)	△473 (－)	△86 (－)

（単位：百万円）	日本テレビ音楽	バップ	ティップネス	日本テレビサービス	日本テレビワーク24	フォアキャスト・コミュニケーションズ
売上高	11,953 (△5.0%)	13,373 (△0.1%)	20,628 (△42.5%)	2,990 (△14.5%)	4,272 (△5.8%)	3,144 (△5.4%)
営業利益 又は損失（△）	2,034 (1.8%)	646 (－)	△6,587 (－)	67 (293.6%)	151 (△26.6%)	△31 (－)
経常利益 又は損失（△）	2,071 (1.3%)	884 (－)	△6,797 (－)	76 (162.8%)	114 (△42.6%)	156 (△50.9%)
当期純利益 又は損失（△）	1,510 (13.5%)	531 (－)	△17,940 (－)	30 (137.9%)	161 (－)	296 (10.5%)

注:　( )の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「－」表記しています。

その他グループ会社の状況②

（単位：百万円）	日テレIT プロデュース	営放 プロデュース	日テレ７	タツノコプロ	HJホールディングス	ACM	PLAY
売上高	3,420 (△16.4%)	2,340 (3.7%)	3,371 (14.0%)	1,644 (1.3%)	29,420 (20.6%)	1,855 (△54.1%)	5,920 (－)
営業利益 又は損失（△）	238 (△40.4%)	112 (△23.6%)	146 (204.9%)	△65 (－)	560 (34.2%)	△688 (－)	1,502 (－)
経常利益 又は損失（△）	240 (△40.1%)	98 (△26.5%)	151 (195.6%)	△52 (－)	584 (34.6%)	△651 (－)	1,499 (－)
当期純利益 又は損失（△）	151 (△43.2%)	98 (△25.9%)	104 (200.2%)	△35 (－)	602 (△11.8%)	△1,403 (－)	863 (－)

注：( )の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「－」表記しています。
　　また、2019年7月に連結子会社化した(株)PLAYの増減率は「－」表記しています。

連結業績予想及び配当予想

（単位：百万円）	2020年度実績	2021年度予想	増減率(%)
売上高	391,335	392,000	0.2
営業利益	34,526	35,000	1.4
経常利益	42,944	41,000	△4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	24,042	28,000	16.5

（単位：円）	第２四半期末	期末	合計
2020年度（実績）	10	25	35
2021年度（予想）	10	25	35

２０２０年度決算のポイント

決算詳細・２０２１年度の見通し

コーポレートガバナンス改革

２０２１年度 経営方針

コンテンツビジネス戦略

2021年度 コーポレートガバナンス改革

新役員　独立社外取締役を全体の３分の１以上に		
取締役会において、今年改訂予定のコーポレートガバナンス・コード４－８で求められる 独立社外取締役３分の１以上の構成比を達成します		
独立社外取締役　12名中３名	→	独立社外取締役　９名中４名

２０２１年度 経営方針

2021 年度は昨年11 月に公表した「**新しい成長戦略**」に基づき、
2020 年代にグループが飛躍的に発展するための足掛かりとなる重要な年。

現在の中期経営計画のスローガンである「**テレビを超えろ**」のもと、
以下の 4 項目を柱に据えて取り組んでいきます。

⑴　デジタル領域への取り組みの加速
⑵　コロナ禍を乗り越える事業の推進
⑶　グループ事業の底上げと強化
⑷　「持続可能な未来」への貢献

⑴デジタル領域への取り組みの加速

◆2023年にデジタル領域事業の連結売上高1000億円へ

■「コンテンツ戦略費」の予算化

■TVerでのライブ配信強化

■Huluでは都度課金の有料コンテンツへサービスを拡大

■地上波のデータ活用による営業力強化と
放送と通信を組み合わせた広告展開

⑵コロナ禍を乗り越える事業の推進

◆新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を見据えて

■メディアとコンテンツのデジタル化を加速

■情報・報道番組内の連絡ツールの電子化

■オンライン上で完結する新たな制作システムの構築

⑶グループ事業の底上げと強化

◆2020 年代半ばまでに非放送事業の収入比率50％以上に

■「監督と対話」によるガバナンスの徹底

■ティップネスの新たな取り組み

■PLAYの動画ソリューション事業

⑷「持続可能な未来」への貢献

◆報道機関の使命として

■「Good For the Planet」WEEK 展開を強化
すべての番組で持続可能な社会に向けた啓発を

■サステナビリティ実現に向けたグループを挙げた取り組み

■温室効果ガスの削減問題など具体的な方針策定へ

２０２０年度決算のポイント

決算詳細・２０２１年度の見通し

コーポレートガバナンス改革

２０２１年度 経営方針

コンテンツビジネス戦略

2020年度 個人視聴率

2020/03/30(月)～2021/03/28(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全　日	① **4.6**	② 4.1	③ 3.4	⑤ 1.6	④ 3.1	**23.3**
6時～24時	**+0.2**	±0.0	+0.2	+0.2	±0.0	**+0.9**
プライム	① **6.6**	② 6.2	③ 5.1	⑤ 3.4	④ 4.7	**35.9**
19時～23時	**▲0.2**	▲0.1	▲0.2	+0.3	▲0.1	**+0.9**
ゴールデン	① **7.0**	② 6.1	③ 5.2	⑤ 3.9	④ 4.8	**38.1**
19時～22時	**▲0.2**	▲0.1	▲0.1	+0.5	▲0.2	**+1.1**
ノンプライム	① **4.0**	② 3.5	③ 2.9	⑤ 1.0	④ 2.6	**19.7**
全日－プライム	**+0.3**	+0.1	+0.3	+0.1	±0.0	**+0.9**
プラチナ	① **3.5**	② 2.5	③ 2.0	⑤ 1.2	④ 1.9	**14.3**
23時～25時	**+0.1**	▲0.2	▲0.2	±0.0	±0.0	**▲0.2**

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/04/01(月)～2020/03/29(日)

☑ **個人視聴率の「年度3冠」は、2013年度から「8年連続」**

2020年度 コアターゲット視聴率

2020/03/30(月)～2021/03/28(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全　日	① **4.1**	④ 1.9	③ 2.0	⑤ 0.7	② 2.4	**13.2**
6時～24時	**+0.3**	+0.1	+0.3	±0.0	▲0.1	**+0.4**
プライム	① **6.4**	④ 3.5	② 4.0	⑤ 1.8	② 4.0	**23.2**
19時～23時	**▲0.2**	+0.2	+0.3	+0.1	▲0.1	**+0.5**
ゴールデン	① **6.7**	④ 3.3	③ 3.9	⑤ 2.0	② 4.1	**23.9**
19時～22時	**±0.0**	+0.2	+0.4	+0.2	▲0.2	**+0.8**
ノンプライム	① **3.4**	③ 1.4	③ 1.4	⑤ 0.4	② 2.0	**10.4**
全日－プライム	**+0.3**	+0.1	+0.3	±0.0	▲0.1	**+0.4**
プラチナ	① **3.6**	② 2.4	④ 1.7	⑤ 0.8	③ 2.0	**11.8**
23時～25時	**▲0.2**	▲0.1	▲0.1	±0.0	±0.0	**▲0.9**

左からデジタルチャンネル順／コアターゲット視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/04/01(月)～2020/03/29(日)

- ☑ **コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す**
- ☑ **コアターゲット視聴率の「年度3冠」は、2012年度から「9年連続」**

日本テレビ　マルチプラットフォーム展開の実践例

●日本テレビ×Hulu 共同製作ドラマ「君と世界が終わる日に」

コアファン層の多いオリジナルゾンビドラマ企画の共同製作スキームを構築し、
地上波＝1月期日曜ドラマにてSeason1全10話を放送

↓　　放送後、Hulu・TVerのキャッチアップ配信でトータルリーチ拡大

↓

Hulu＝地上波最終回後、HuluオリジナルにてSeason2全6話を配信

⇒6週連続でHulu内視聴ランキング1位を獲得し続け、
Huluオリジナル国内ドラマ部門歴代1位の大ヒットを記録

⇒Hulu新規会員の大幅増加を達成

⇒Huluオリジナルとして、Season3の製作を発表

HJホールディングス　2020年度まとめ

◆2020年度売上高は前年度比120%を達成

コロナ禍の生活スタイルの変化もあり、配信事業は引き続き活況

◆有料会員数は大幅増

年度の会員純増数は歴代最高を記録

◆新規会員獲得に寄与した作品TOP3

1位 NiziProject

地上波放送との連動で
空前の社会現象に

2位 君と世界が終わる日に

地上波後のシーズン2を
Huluオリジナル配信

3位 今日から俺は!!

大ヒット映画との連動で
話題沸騰

HJホールディングス　2021年度に向けて

◆「Huluオリジナルコンテンツ」の拡充

・Huluでしか見られないオリジナルコンテンツを21年度もラインナップ

◆「日本テレビ地上波」とのさらなる連携

・地上波番組の見逃し配信大幅拡充
・地上波番組派生のオリジナルコンテンツ配信
・Huluコンテンツの地上波告知による送客

◆「オンラインライブ」という新たな視聴体験の提供

・昨年6月から、Huluストア事業（TVOD事業）をスタート
・TVODライブ配信を入り口にSVOD会員に移行する導線を強化しつつ、
　SVOD会員に親和性のあるTVODライブも展開

◆「ウォッチパーティ」などの新たなコミュニケーション

・複数ユーザーと同時視聴しながらチャット可能なサービスをスタート
・SVODコンテンツの新たな楽しみ方の提供

2021年度　注目のコンテンツビジネス戦略

●映画事業

・2021年7月公開 「竜とそばかすの姫」

日本が誇るアニメーション監督・細田守最新作
「竜とそばかすの姫」の映画興行成功にむけ、
全社的な宣伝体制を構築。
海外の配給会社との事業展開も進行中で、配信等
二次利用を含めて世界規模のヒットを目論む。

・2021年12月公開 「あなたの番です」劇場版

2020年夏の「今日から俺は!!劇場版（興収53.7億円）
に続き、大ヒットドラマの映画化作品として、
お正月興行ナンバー１を目指す。
全社的な宣伝体制の構築はもとより、地上波や配信での
映画連動企画も進行中で、連続ドラマ以上の
「あな番」旋風創出を目指す。

・「キングダム」 続編現在製作中

2021年度　注目のコンテンツビジネス戦略

©真島ヒロ／講談社・NTV

●アニメ事業

・2021年４月期アニメ「EDENS ZERO」
久しぶりの大型アニメ（2クール、全国放送）
放送前から海外、配信で大型ディールが決定。

『音が出たら負け』（英題“Mute it ”）

●海外事業

・英コンテンツ業界専門会社「K7」が公表した「アジア発フォーマット輸出企業ランキング2020－2021」で日本テレビが3位に。日本勢唯一のランクイン。
・欧米市場へのフォーマット販売に注力。配給力のある大手と連携し、20年度に開発した好調企画の成約を複数実施へ。

2021年度　注目のコンテンツビジネス戦略

●通販事業

・上昇傾向のEC事業は、番組・事業の連動商品増。
「日テレポシュレ」では、ヒット商品発掘と早朝枠の成功等で
２年連続となる100億円以上の収入を目指す。

●「ヒトＩＰ」を開発

・ネクストNiziUを生み出し、派生する番組、音楽、
オンラインを含むライブ、商品化などのビジネスを拡大。
・LDH、Sony Music Entertainment等、
エンターテインメント企業との協業を拡大。

※ヒトIP－IP（知的財産）を広義に捉え、コンテンツのみならず、
アーティストやアイドルを生み出すこともIPとする考え方

●イベント事業

・「バンクシーって誰？展」…世界中で話題沸騰のアーティスト
バンクシーの真の姿に迫る。8月21日～12月5日（東京）
・デジタルを活用した新たなイベントの在り方を開拓。

バンクシー《風船と少女》Girl with Balloon (diptych)
2006 年　個人蔵

日本テレビの新規事業　～全８事業を運営～

●人材教育事業　日テレHR

⇒生放送スキルを生かしたクオリティの高いリモート研修や動画教育で躍進。
⇒売上は、前年度比２．４倍で通年黒字化。
⇒専用動画を使用し、年間のべ4,700名の
人材育成プログラムを受注。20年度顧客数社51社。

●VTuber事業

⇒VTuberネットワーク「V-Clan」は、
人気VTuber100人以上が参加し世界最大規模に。
⇒6回のイベントを主催、14件のタイアップ案件を受注。
売上は、前年度比１７倍超で通年黒字化。
⇒イベント「VILLS」はTwitterトレンド１位を記録。

●eスポーツ事業

（eスポーツ番組「eGG」プロeスポーツチーム「AXIZ」）
⇒プロ選手、コーチら約30名が在籍する
大型プロeスポーツチームに成長。
⇒スポンサーシップ、賞金、出演料、配信等で通年黒字化。

「Good For the Planet」ウィーク

●概要

SDGsの17項目を中心に、人のため、暮らしのため、社会のため、そして未来のためにできることを、視聴者の皆さんと一緒に考えていくウィーク。昨年スタートした「Good For the Planet」を強化し、ことしはウィーク展開であらゆるジャンルの４１番組が、様々なジャンルの「未来にいいこと」「地球にいいこと」を発信。全国から参加できるSNS企画も実施。

また、「ザ!鉄腕!DASH!!」などのバラエティ番組やニュース情報番組では、通年でこの取り組みを進めます。

●今年のテーマ	「＃今からスイッチ」
●期間	5月31日(月)～6月6日(日)
●パーソナリティー	TOKIO
●スペシャルサポーター	橋本環奈
●特別大使	市川海老蔵

補足資料

セグメント別　実績

（単位：百万円）

2020年度	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結損益計算書計上額
	ﾒﾃﾞｨｱ・ｺﾝﾃﾝﾂ事業	生活・健康関連事業	不動産関連事業	計				
売上高	364,375	20,628	10,307	395,311	6,956	402,268	△10,933	391,335
セグメント利益又は損失（△）	38,624	△7,264	3,715	35,075	349	35,424	△898	34,526

事業区分	主な事業内容
メディア・コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、動画配信事業、有料放送事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、テーマパークの企画・運営、コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産関連事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント、太陽光発電事業

日本テレビ放送網　放送収入 前年同月比

タイム	2019年度（%）	2020年度（%）
4月	△3.2	△2.4
5月	△2.1	1.9
6月	△10.9	△3.1
7月	△5.8	△3.8
8月	0.9	0.6
9月	9.2	△11.6
10月	8.7	△10.2
11月	0.2	0.1
12月	0.0	△8.0
1 月	2.9	△2.5
2 月	6.0	△3.3
3 月	△5.7	△1.0

スポット	2019年度（%）	2020年度（%）
4月	△1.9	△24.7
5月	△11.2	△40.2
6月	△5.9	△47.5
7月	△4.5	△32.6
8月	△7.7	△26.4
9月	△10.5	△18.5
10月	△15.7	3.4
11月	△10.2	0.4
12月	△7.2	11.6
1 月	0.0	△5.6
2 月	△2.2	4.1
3 月	0.1	3.9

スポット業種別売上シェア
- 地上波（日本テレビ放送網） -

	2019年度	シェア（%）	増減率（%）
1	通信・ゲーム	14.5	4.8
2	サービス	11.1	△5.4
3	化粧品・トイレタリー	10.5	△18.2
4	金融・保険業	6.4	△8.7
5	薬品	5.6	△7.9
6	輸送機器	5.5	△11.3
7	非アルコール飲料	5.0	△4.4
8	映画・演劇興行	4.6	△10.6
9	電気機器	4.5	8.1
10	食品 ＜加工・健康食品等＞	4.1	6.7

2020年度	シェア（%）	増減率（%）
通信・ゲーム	19.7	17.4
化粧品・トイレタリー	9.0	△25.9
サービス	8.8	△31.0
薬品	6.1	△5.6
輸送機器	5.5	△13.9
金融・保険業	5.3	△28.4
食品 ＜加工・健康食品等＞	5.2	10.1
電気機器	5.1	△1.9
非アルコール飲料	3.9	△33.3
食品＜乳製品調味料＞	3.1	△15.2

注： 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2021年 映画事業の主なラインナップ

☆＝日テレ主幹事　★＝日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考	
6/18 （金）	**★ザ・ファブル 殺さない殺し屋**	松竹	2019年大ヒットした大型アクション映画の続編！ 世界も称賛したアクションをさらにスケールアップし早くも劇場に帰ってくる！ 監督：江口カン　出演：岡田准一　木村文乃ほか	
7月	**★竜とそばかすの姫**	東宝	新しい時代を“生きる”すべての人へ捧ぐ、 アニメーション映画監督・襲田守が辿り着いた 渾身の最新作 監督：細田守	
12月	**☆あなたの番です 劇場版**	東宝	日本中を席巻したあのドラマが帰ってくる― もし、あのマンションの事件が始まらなかったら… 「あなたの番です」パラレルワールドが今始まる！ 監督：佐久間紀佳　出演：原田知世　田中圭ほか	

2021年イベント事業の主なラインナップ

※新型コロナウイルスの影響で開催が延期・中止になる可能性あり

期間	イベント名	内容
[東京展] **8月21日(土) ～12月5日(日)** **寺田倉庫G1ビル**	**「バンクシーって誰？展」** 	**アート界の異端児 “バンクシー” の謎に迫る、 日本オリジナルの展覧会！** 世界各都市を巡回し人気を博した「ジ・アート・オブ・バンクシー展」の傑作群を、日本オリジナルの切り口で紹介する展覧会。**プライベート・コレクター秘蔵のオリジナル作品に加え、活動の主戦場である“ストリート” に描かれた作品を、テレビ局ならではの街並み再現で没入空間として展示します。** **——それはまるで“映画のセット”。** いま世界で最も注目を集める時代の先駆者“バンクシー”。その活動の意味を、幅広い世代に楽しく理解していただける貴重な機会となります！東京以降、名古屋、大阪、郡山、高岡、福岡に巡回予定。
【相模大野公演】 7月3日(土)11:15／14:00／★16:30 相模女子大学グリーンホール・大ホール **【府中公演】** 7月4日(日)　10:15／13:15／★16:00 府中の森芸術劇場・どりーむホール **【松戸公演】** 7月24日(土)　10:45／13:45／★16:30 森のホール２１・大ホール（松戸市文化会館） **【水戸公演】** 8月14日(土)　10:45／13:45／★16:30 ザ・ヒロサワ・シティ会館・大ホール **【川崎公演】** 9月25日（土）10:45/13:45/16:30 ★ カルッツかわさき　ホール	**それいけ！アンパンマン ミュージカル 「勇気の花に歌おう♪」** 	**こども達に大人気のミュージカルが今年もやってきます！** **【今年は 相模大野・府中・松戸・水戸・川崎 の5会場で開催】** 2015年に始まって以来、毎年多くのこども達に大人気のミュージカル。演目は「勇気の花に歌おう♪」しらたまさんのコンサートを舞台にアンパンマンと仲間達が活躍！アンパンマンのフライングが見所です。
[大阪公演] **６月２日(水)～10日(木)** **新歌舞伎座**	 	**アクション・エンターテインメントの最高傑作、再び降臨！** 平成最後の秋を席捲した話題作『魔界転生』を２年半ぶりに再演！ 歴史上の剣豪たちが次々と甦り、現世の怨念を晴らさんと、時空を超え、悪鬼となり、徳川幕府と対決する、豪華絢爛、奇想天外、壮絶・壮大なエンターテインメント時代劇。派手な大立ち回りやフライング、華と実力を兼ね備えた豪華キャストの競演、必見の舞台です！ 【原作】山田風太郎（角川文庫刊）【脚本】マキノノゾミ 【演出】堤幸彦 【企画・製作】 日本テレビ 【出演】上川隆也 小池徹平 藤原紀香 村井良大 木村達成 田村心 岐洲匠 宇野結也 財木琢磨 山口馬木也 渡辺大 浅野ゆう子 松平健